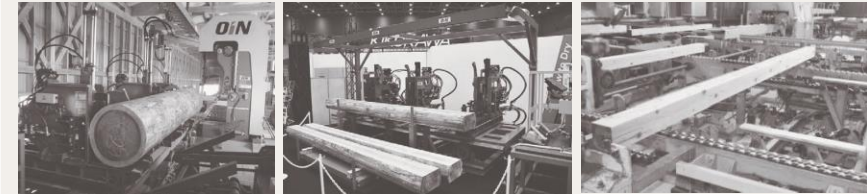




01 背景：木材加工の標準化



戦後直後に植林された木々が成長し、柱寸の丸太が伐採可能になると、主に 105mm 角および 120mm 角の柱材が製材されるようになった。柱材は梁材に比べて種類が少なく、在庫管理の面で製材工場にとって都合が良いため、**柱挽きを専門とする工場が増加**した。そんな中地域工務店は、自社で建てる建物に合わせて原木を購入し、台車挽き製材を行っていたが、現在は**製材を外部に委託する会社が増え**、付加価値の高い少数生産の地域システムが失われつつある。

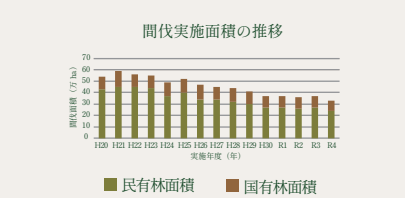
02 問題提起

■ 木材利用と地域産業



木材加工と木材活用を分業化したことにより、工務店の人たちが木取りをし、余った木材も活用するという意識が消失した。それと共に**地域性が見られる木材活用**や、地域ごとの**木材活用のノウハウ**も消失しつつある。

■ 放置される不適寸材



戦後の住宅需要に対応して製材工場は柱材規格の大量生産設備を導入したが、伐採の遅れで**大径木が増加**し、現行設備では効率的に処理できず、**木材資源を活用できない問題**が生じている。

05 提案：木材活用の多様化



伐採された原木は本敷地まで運搬され、**皮剥きから加工までを一貫してシェア製材所で行う**。製材されるまでの工程を行う部分は**外部に開かれ見える化**し、工務店や林業従事者以外の人が製材に触れられる機会を創出する。敷地内で**店舗事業を行いたい人や DIY をしたい人が自ら製材**し、自らの手で木材を活用することで、画一的に統一された木材加工だけでなく、**ニーズによって多様な木材の活用方法を見出す**。

07 登場人物

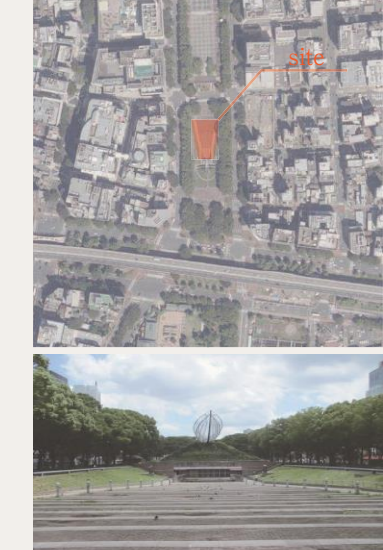


収穫した木材がその地域に還元されているところを見て、とてもやりがいを感じます。少し運搬するのが一苦労だから近くにあったらいいな！

最近は製材の担当がある工務店さんが増えて、スムーズに作業できます。地域の住民や工務店、林業の方が交流している姿を見て幸せを感じます！

加工が自由だから色々な場面で使えます。住宅以外にも様々な事業に活かして、事業拡大できました！丸太も安く買えて良かったです。

03 敷地：名古屋市久屋大通 南エリア



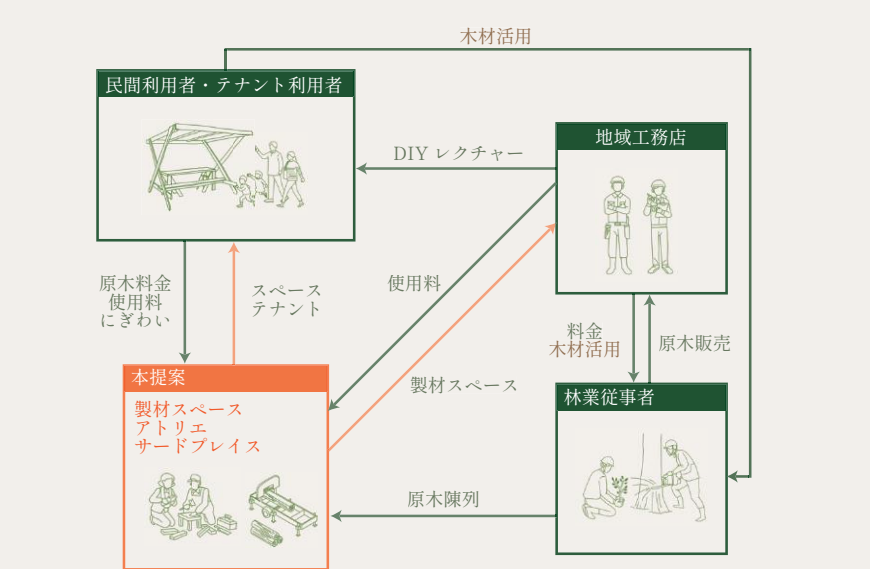
本提案では、**愛知県名古屋市中区に位置する久屋大通公園の南エリア**を提案敷地とする。本敷地は戦後に整備された都市公園の画一であり、名古屋市の特徴を活かして**年間を通して賑やかなイベントが多数行われている**。南エリアには船を模した巨大なオブジェがあり、待ち合わせや芝生で腰を下ろす休憩スポットとしても利用されている。

06 シェア製材所拡大フェーズ



中心地にこの施設を計画することにより、木材の活用が促進され、**運搬コストの削減により各地域への類似施設が普及**していく。これにより、**地域ごとに木材の集積と活用が進み**、県全体での木材利用が大幅に拡大するだけでなく、**地元の産業振興や持続可能な森林管理の推進**にも寄与する。また、木材を活用することで、**地域経済の活性化や雇用創出**といった**社会的な効果**も期待される。

04 提案：シェア木材製材所



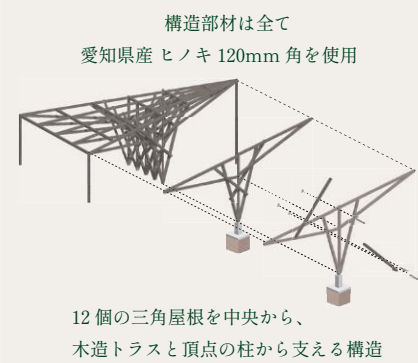
地域工務店がその場で丸太を購入し、製材できる**シェア製材場**を提案する。林業従事者は JAS で不適寸な原木も販売でき、**森林の伐採面積が拡大**する。そして、地域工務店は地域事業での適寸に製材できるため、コスト面が抑えられ、**木造事業が拡大**する。シェア製材場は**地域住民へも開放**し、五感を通して木材に触れ、良さを伝える。シェア製材場を中心に **3 者が交流して木の経済を作り出し、木材の活用意識が各地へと波及**していく。

08 ひかりの広場について

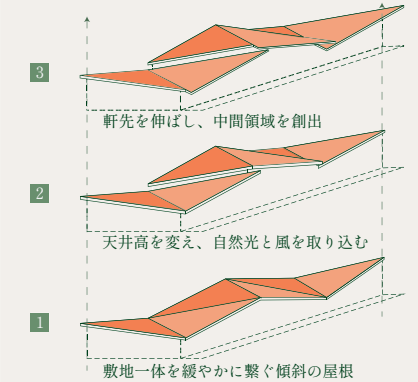


光の広場およびモニュメント、久屋大通公園南部は、当該公園が**バスターミナル**によって分断されていることや、魅力的な演出装置が少ないことにより再整備することが契機となり、1989 年に行われた設計競技の優秀作品を基に整備された。2020 年には北エリアが再整備され、**商業施設と一体化しにぎわいを見せているが**、南エリアは未だ再整備が行われておらず、**イベント時以外の恒常的なにぎわいが見られない**。

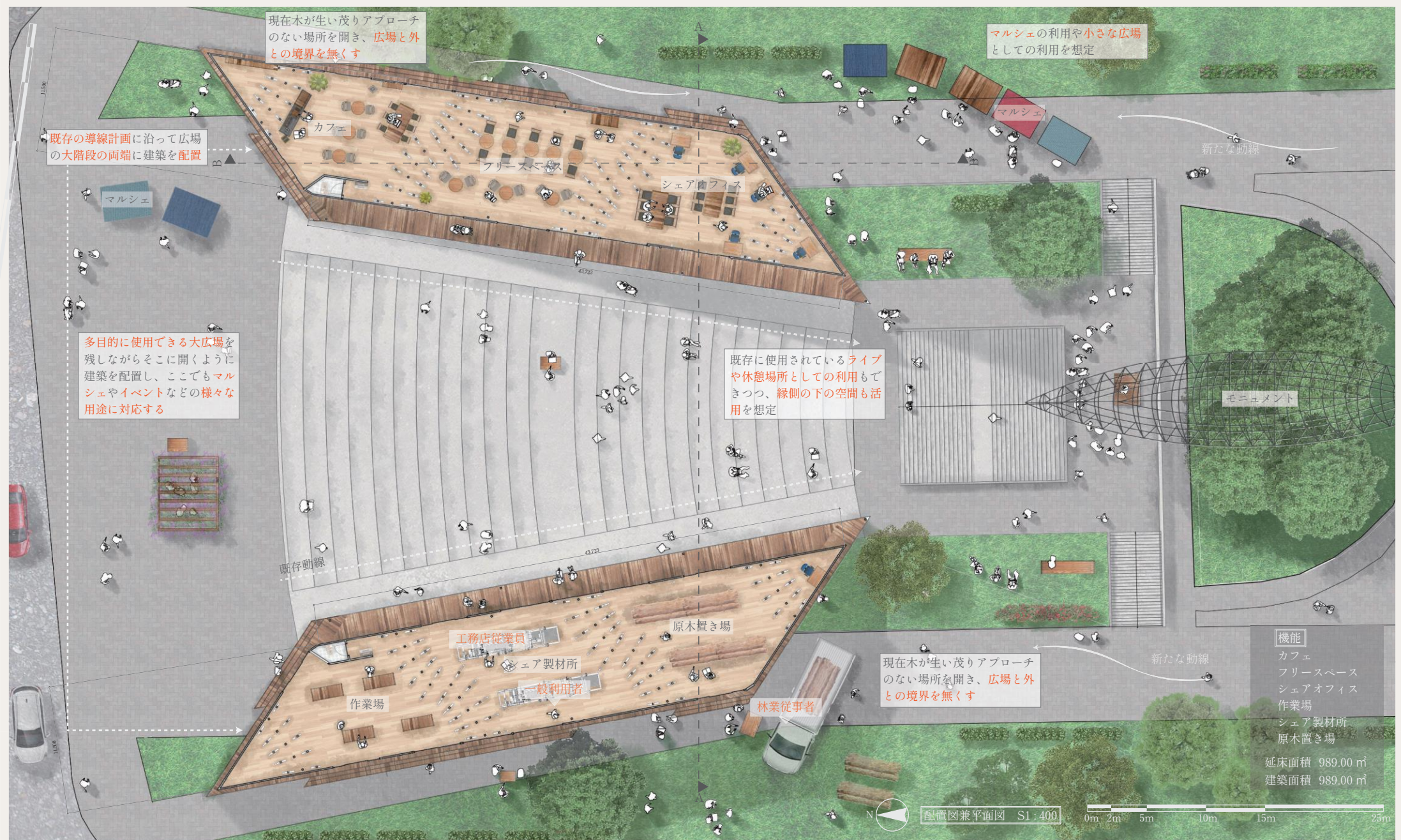
09 構造ダイアグラム



10 建築操作



12 配置図兼平面図 1:400



13 立面図 1:400



14 断面図 1:400

